



みんな しんけ〜ん

11月7日、林保育所に「全国訪問 おはなし隊」がやってきました。これは講談社の創業90周年を記念し、昨年7月から350冊の本が積まれたキャラバンカーで全国の幼稚園、保育園、児童館などをまわり、絵本や紙芝居の読み聞かせをするものです。子どもたちは開放されたキャラバンカーの中の絵本をお友達と読んだり、絵本を読み聞かせてもらったり、楽しいひとときをすごしました。本が好きになったかな。

第4回おしゃべりコンサート

心に響く清らかな歌声

カルファウレリウス少年合唱団を迎えて

おしゃべりコンサート実行委員会（飯田明委員長）主催によるおしゃべりコンサートが、十月二十二日中央公民館大ホールで開催されました。このコンサートは町芸術祭の音楽部門として行われているもので、今年は、ドイツから招いた少年合唱団の清らかな歌声がホールに響きわたりました。今回のコンサートは、合唱団員のホームステイにボランティアで協力されたホストファミリー、前日の歓迎会では食生活改善推進員連絡協議会の皆さんをはじめ、多くの方々に協力いただくなど、幅広い支援のもとに開催されました。



透き通るような美声は聴衆を魅了



町の3つのコーラスグループがジョイントで歌う場面もありました

カルファウレリウス少年合唱団は、一九八三年ドイツのカルフ音楽学校に設立された合唱団で、団員構成は四十五名、国内外のオペラハウスの舞台や著名な指揮者、オーケストラとの共演、テレビ、ラジオでの演奏、コンサート活動など幅広く活躍しています。

コンサート当日、会場入り口は開演前から人の列ができ、大ホールの客席は満席となりました。

日本の歌「赤とんぼ」や「もみじ」などは日本語で披露、透き通るように清らかな歌声に、聴く者の心が洗われるようでした。

日本の歌も披露



国際交流に一役

合唱団は二週間の予定で来日、日本各地を回る公演スケジュールの中で、八郷公演の滞在中は、団員がホームステイするという企画であったため、十八組のボランティアのホストファミリーの協力が

コンサートの大きな支えでした。音楽鑑賞だけに終わらず、ホームステイをした合唱団の少年たちと家族とのふれ合いは、音楽を通じての民間交流という形にもなり、おしゃべりコンサートは大きな広がりを見せました。

さわやかな風が吹き抜けたような二日間の八郷滞在でした。

小桜小で交流会

小桜地区の二組の家族の元にホームステイした合唱団のメンバー四人は、八郷町を出発するまでのわずかな自由時間を割いて、小桜小学校で計画した全校児童との交流会に参加してくれました。

一時間という限られた時間ではありましたが、児童のみなさんと歌やゲームで楽しいひと時を過ごしました。コンピュータゲームや人気のテレビアニメなど、ドイツでも日本でも子どもたちの遊びや興味あることは共通している

ようでした。交流会の後、授業の様子を見たいという希望で、教室やコンピュータ教室を見学しました。四人は教室で児童に囲まれサインを求められるほどの人気、ドイツの親善大使の役割も果たしてくれました。ホストファミリーとの出会い、小学生との交流は、公演で訪れた八郷町の印象をより深いものにしたことでしょう。



教室をまわって授業の様子を見学



全校児童が体育館に集まり4人を歓迎





↑みんなの息もピッタリだね



↑むし歯一本もないんだよ。

れあいまつり 城まつり

10月29日、柿岡商店街通りを会場に、八郷ふれあいまつりと柿岡城まつりが行われました。当日は小雨が降る中で催され、柿岡館獅子舞を除いては予定通り行われ、阿波踊りや武者行列、歌謡ショー、郷土芸能まつりなどで会場は賑わいました。



↑郷土芸能小幡ばやし



↑衣装がぬれないように。



←お餅こっちにもちようだい。



↑女武者、かっこいいですね。



阿波踊り



↑ 軽快にリズムをとりながら



↑ 歌謡ショー西尾夕紀さん



↑ 歌謡ショー田川寿美さん



↑ はいポーズ、きまった？



↑ 田川さんの歌にみんなうっとり



大抽選会



↑ 会場には色とりどりの傘が

第11回 八郷ふ 第12回 柿岡

カメラ・ルポ



↑ わが町の「八郷音頭」。みんな揃ってるね。

八郷のいいところ知っておこう

町の史跡・名勝を訪ねて



十一月七日、東筑波・やさと観光研究会（代表・木崎真氏）による史跡見学研修会が行われました。この研究会は、鈴木俊勝氏（小屋）（県観光協会公認・ふるさと観光アドバイザー）が呼びかけ、旗揚げした民間組織です。このほど行われた研修会には十人のメンバーが参加、観光などで八郷町を訪れた人たちに、町のよい所を案内し喜んでいただくために、地元民として史跡、名勝、文化財などについての知識を深め、また忘れ去られようとしている歴史遺産にも目を向けて行こうという思いで行われたものです。同行して目にした現状など、いくつか紹介してみます。

屋根などの傷みが激しい北向観音（小野越）

傷み激しい堂宇

フルーツライン辻十字路から、不動峠に向かう途中、小野越集落に北向観音があります。その昔、小野小町がこの山の南にある小野郷（新治村）にいた時、悪い病にかかりこの観音様に祈願して病が癒えたと伝えられる、小野小町ゆかりの観音堂です。（八郷町誌）



境内に登る急な石段脇には大きな岩があり、かつては岩の間から滝が落ちていたといえます。いまは藁や雑草に覆われ、わずかに面影をとどめるだけです。観音堂は、うっそうと繁る木々に囲まれ歴史を重ねた風情を感じさせます。屋根の傷みが進み、境内の灯ろうが壊れているのが残念です。



片方の灯ろうはかさが落ちています

◀ 霧にけむる仏生寺の眺望



猪内の薬師堂

大杉と鳴滝

佐久集落のほぼ中央に鹿島神社があります。大杉はこの神社のご神木で地元では「大杉様」と呼ばれ県の天然記念物に指定されています。室町時代の応永年間に神社が創建されたところ、「すでに千年に



近い杉」といわれ、また元禄十六年（一四二八）武甕槌尊を迎祀したときは「千年を越す巨木であった」といわれたことが今も語り継がれています。（八郷の文化財）
推定樹齢千三百年の大杉は、昭和四十一年の台風で、枯損した上部が倒壊しました。枯損の進展が心配されていましたが、平成九年度から樹勢回復のため、根の部分の土壌を掘削し肥料を施すなど保存工事がすすめられてきました。
瓦谷両析集落から林道を登ると鳴滝のすぐ下に至ります。木々の間の一枚岩の上を滑るように流れる滝は、日ごろ水量はそれほど多くありませんが、雨が降ったあと水量を増やして勢いよく流れ落ちる様はまた格別です。
林道沿いには桜が植えられ、春の桜、夏の清涼感、秋の紅葉など四季折々に風情があります。

上曾の太子堂

上曾峠の登り口、上曾集落から右の方に入った静かな山中に赤い太子堂があります。太子堂内の厨子に、漆塗と金箔の彩色で仕上げられた聖徳太子像が安置されています。太子十六歳の等身大の像といわれています。

平成三年に像の一部を修理したところ、胎内から立像修理縁起書、奉加帳、奉加者名の刻印銅版などが発見され、江戸時代の享保年間に太子像と堂宇が修理されていることが判明しました。厨子、修理縁起書、奉加帳などを含めて町指定の文化財になっています。かつて絵が描かれていたという堂内の天井は、雨漏りなどのために傷み、現在は白木の板になっているのが惜しまれるところです。



長楽寺の天狗話

猪内集落にかつて長楽寺というお寺がありました。創立された天長年間には滝本坊といい、修験者が修行を行う僧坊であったものが、慶長年間に長楽寺と改称されました。この長楽寺に、昼は野良仕事に精をだし、夜は修行に励んでいた親孝行の息子が、母親の願いを聞いて天狗に姿を変え望みをかなえたが、母親に天狗の姿を見られた息子はどこかへ去って行ったという天狗の話が伝わっています。

長楽寺は現在に残っていませんが、薬師如来を祀る薬師堂は、地元の人たちの協力で屋根などが葺き替えられ、よく保存されています。堂内の木像などを含め、今後大切に保存されたいものです。



猪内の薬師堂

万灯で賑わった 太田善光寺

八郷町から笠間に通じる大規模農道沿い太田田園都市センターそばに国の重要文化財に指定されている善光寺楼門があります。楼門は、昭和五十八年に国の指定を受けましたが、損傷が激しいため、平成六年から七年にかけて解体修理が行われ現在に至っています。
楼門をくぐり石段を登った奥に善光寺阿弥陀堂があります。「太田の善光寺」といえば、古くから「太田の万灯」として親しまれ、旧暦の六月十四日には、夜を徹して賑わったそうです。いま阿弥陀堂は屋根が崩落する危険があるため、建物に近づけない状況です。



滞納者に資格証を交付

国民健康保険加入者のみなさんは、医療費の一部を負担するだけで医療費を受けられるのと同時に、保険税を納める義務もあります。もし、保険税を納めない人がいると、国保の運営が困難になり、医療費をまかなえなくなってしまう。保険税は必ず納めましょう。

平成十二年四月一日からの介護保険制度施行にともない、平成十二年四月一日以降の納期限にかかると国民健康保険税をある一定期間滞納した者に対して、被保険者証の返還及び被保険者資格証明書の

交付が国から義務付けられました。被保険者資格証明書の交付世帯は、特別な事情がないのに保険税を滞納している世帯、納税相談に応じない世帯、また応じても約束事項を守らない世帯などです。

これらの世帯は、被保険者証を返還してもらい、替わりに被保険者資格証明書を交付することになります。

さらに、滞納を続けていると、国保の給付の一部または全部が差止めになり、差止めた給付額から滞納分が控除され、支給されることとなります。また、現在同じように

特別な事情がないのに保険税を滞納している世帯主などに対して、短期有効被保険者証を交付して

います。なお、被保険者資格証明書の交付を受けている世帯でその滞納額に著しい減少があった場合は、短期有効被保険者証に切り替えます。

*前記の「特別な事情」とは、納税相談・指導の結果、災害、病氣、倒産などで生活が著しく困難になり、十分な支払い能力がないと認められたものをいいます。

被保険者資格証明書とは
病院で診療や治療を受けた時の医療費がいったん全額自己負担になり、その時の領収書などを国保年金課へ提出し、後日七割ないし八割分の支払いを受けるというものです。

ただし、資格証明書を提示しないで診療を受けた場合は「自由診療扱い」となり通常の料金より高い値段を請求される場合があります。その場合通常診療ではないので後日の診療代の支払いをすることができません。

短期有効被保険者証とは
通常の被保険者証と同じ効力をもち通常の有効期限（二年間）より短い有効期限を設定したものです。

つい、うっかり納め忘れがないように 保険税の納付は口座振替で

保険税の納付を口座振替にすると…

預金口座から自動的に払い込まれるので、納め忘れがなくなったわ！



納期のたびに銀行とかに行く必要がなくなって、忙しいボクとしては大助かり！



一度手続きをすれば次の年からも自動的に納付されて、毎年継続されるのがいいね！



申し込みの手続きは…

預金通帳



印かん
(通帳の届け出印)



納付書



これを持って

もよりの郵便局
八郷農協・常陽銀行
石岡信用金庫へ

※詳しくは国保の窓口へ

(8)

翔美球優会

バレーボールで仲間づくり

翔美球優会（しょうびきゅうゆうかい）はことし結成されたばかりのバレーボールチームです。現在、八郷町内の青年勤労者十八歳から三十五歳まで十数名のメンバーが所属し、九人制、六人制バレーボールを中心とした活動をしています。

練習は毎週水曜日の夜間、吉生小学校体育館で、全国青年大会出

場経験者や関東大会出場経験者、町内バレーボール経験者などの指導のもとで行っています。そして、八郷町唯一の一般青年女子チームとしてクラブカップ、青年大会、近隣市町村親善試合等の大会に出場しています。

ことし十月に行われた「萩原杯バレーボール大会」においては、町内外女子バレーチーム十四チー

ムが出席する中、見事初出場で初優勝を果たしました。

さて、クラブチームの結成された理由ですが、八郷町には県内でもバレーボールの強いスポーツ少年団や中学校があるのに、

その選手たちが高校や大学を卒業した後、どこも活動する場所がないというこ

とから優秀な選手たちが会社に通いながら活動できる場をつくろうと声があり、結成されました。また、高校生や大学生も気軽に練習に参加できるようにしています。

これからは、キャプテンの大塚由美さんを中心として、仲間やコーチと一体になって、勝つ喜びや満足感が味わえるよう努力していくそうです。そしてバレーボールを通して良い仲間づくりができることを一番として活動していきます。

クラブ員募集

練習 毎週水曜日 午後八時から午後十時

会費 月千円（傷害保険込）

対象 町内在住の十八歳から三十五歳程度までの女性（高校生、大学生も可）
年間を通して随時お受けしています。直接練習を見に来てくださっても結構です。

□連絡先 大塚由美

☎四二一三五一七

ランの中で、もつとも皆さんに親しまれているシンビジウムとデンドロビウム。今回は花を咲かせるためのちょっとしたコツをお話したいと思います。

置き場所は、春と秋は屋外で直射日光に十分当て、夏は風通しの良い、明るい日陰が最適です。冬は暖房機の風の当たらない、日当たりの良い窓辺で管理をします。

水やりは、春から秋の成長期には、植え込み材の表面が乾いてきたらたっぷりと、夏は毎日朝夕、冬は乾いてから三日置いて与えます。デンドロは十月の間だけ十日に一回くらいに水を切り、花芽分化を促します。

肥料として、デンドロは四月から七月の間、固型の油粕玉を一月ごとに二個、シンビジウムは四月から八月の間、固型の油粕玉を一月に五個与えます。ともに最後の一月間、リン酸系の肥料に替えると花付きが良くなります。

デンドロは花芽分化を促すため、秋に水を切り、十五度以下の温度に二週間以上当てます。霜の降る直前までは屋外で管理しましょう。

シンビジウムは春から秋の間、芽かきが必要です。一つのバルブに一つの芽が最適で、二つ以上あるとき、または後から出てきたときは、小さい方の芽をかき取ります。秋になると花芽が出てくるので注意しましょう。また、株の消耗を防ぐため、花は咲いたら一か月で切り、切り花で楽しむようにします。

植え替えはともに三月下旬が適期で、株の状態によりますが、三年に一回は行いましょう。

園芸課 斉藤益実

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

シンビジウムと
デンドロビウム
の咲かせ方



地磁気観測所のプラタナスとユリノキ

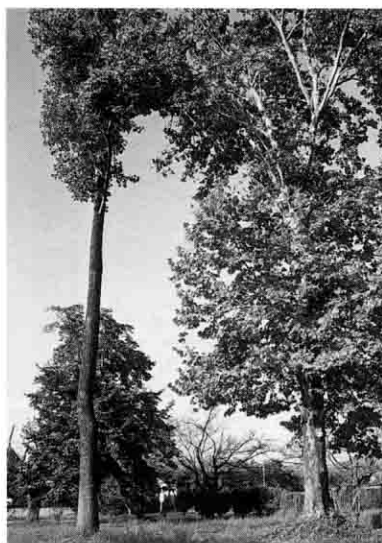
「柿岡、震度二、わたしと同世代の人たちは大概、地震があるとラジオから流れてくる「カキオカ」の震度状況を心待ちしたものである。」

当時、研究所（通称）は柿岡町民誰もが誇りとしたものだ。花崗岩の球体の正門から構内に続く通路には玉砂利が敷かれ、春ともなれば桜並木はお花見の町民で賑わった。

坂を登った台地に左右対称のドイッ風洋館が筑波山を正面にして立ち、野芝で覆われていた丘陵には天体望遠鏡を取めた丸いドームが鈍く光っていた。研究所は確かに別天地だった。小学生が遠足で訪ねたり、遠来の客を案内したり、ここは自慢の観光スポットでもあった。いつしか時の移ろいとともに訪ねる人も少なくなつたようである。「昔はよく遊び

に来たものです。地元との交流も盛んだつたのですが……」と話を向けると「それが残念なのです。お気軽に、いつでもどうぞ、大歓迎です」と調査課の外谷さん。そして「町の宝にして、町おこしの目玉にしてもらいたいのです」と熱っぽく話される。七二〇〇㎡の敷地には「必ず何かあるはず」との予感から訪ねてみると、やはりあった。推定樹齢九〇年に近いプラタナスとユリノキの大本だ。どちらも外国原産の樹木というのも研究所という場所柄なのか……、大正元年に東京から柿岡に移転し、洋風石造りの庁舎や実験・観測棟の施設が整えられ、多分の環境に見合う外国原産の樹木が植栽されたのではないか。

テニスコートの近くにある幹周り



所在地	地磁気観測所 柿岡595
樹種名	ユリノキ(左) プラタナス(右)
幹周り	1.95m 2.25m
樹高	26.7m 24.0m

二・二五mのプラタナスは、周りに遮るものもなく条件に恵まれているので、これからの成長が楽しみだ。

プラタナスはアジア西部やヨーロッパ南部の原産で我が国には明治期に輸入され、和名のスズカケノキは、この樹の球状果の垂れ下がるさまが山伏の着る蓑衣（ふしぎ）についている球状の飾りに似ているところからだとされる。

プラタナスの近くに樹高二六・七mの空を目指して幹を伸ばすのつぼのユリノキ（百合木）が立っている。これは北アメリカ原産のモクレン科の落葉高木で初夏に枝先にチューリップのような形の薄黄緑色の花を上向きに咲かせるので「チューリップの木」とか、また葉の形が半纏（はんてん）に似ているところから「半てん木」とも言われる。

何せ高さのある樹なので花を間近に見られないのが残念である。八郷町ではフラワーパークのふれあいの森近くに五本移植されたが、何と言つても庄巻は学園西大通りのユリノキの並木だ。筑波山を背景に二、六一五本のユリノキが両側五kmにわたる二〇mの高さで延々と続くさまは世界的に有名な景観だと言われる。しかし、台風などの風倒木の心配から近いうちに伐採されようとしているので、その前には是非ご覧いただければと思っている。

八郷町社会教育指導員 小林文男

●最近気になる病気

「あなたは、便秘ですか？」

石岡市医師会病院

内科 春日井 啓悦医師



まず、あなたを困らせる便秘の定義ですが、四日を越えたものは便秘と考えるください。たとえ三日に一回のペースでもその人にとって「ほどよい硬さ」ですっきり出していればそれでいいのですが、逆に毎日排便に苦しむなら便秘であるといえます。便を出すのに十分以上かかる人、便の出てくれない人、便がコチコチに硬い人、ウサギのふんのようにコロコロしている人は便秘といえます。また、残便感のある場合も便秘といえます。一般に、便秘は大きく分けて、癌や炎症などが原因の器質性便秘と、それらのない機能的便秘とに分けられます。世の中には、機能的便秘が多いわけですが、それは次のような生活習慣にもとづくものが多いのです。①「朝のトイレ習慣の欠如」朝は時間に余裕を作りましょう。お風呂から出た後にリラックスタイムして排便の時間をもうけるなど生活時間に工夫をしましょう。②「運動不足」車だけの生活でなく歩きましょう。③「食生活」肉、魚中心の食生活が硬い便の原因となります。それに見合う量の野菜をとり水分を補給しましょう。便の色や形が変わってきます。便に変化のないときは、野菜の取り方が少ないと考え、良いと思います。④「ストレス」除く工夫をする。そこで、前述の工夫に加えて、便意を復活させるために次のようなことを注意してください。①胃結腸反射をうながすために、朝コップ二、三杯の水が必要。②食後または水を飲んだ後、必ずトイレに行つて排便を済ませる習慣を作る。③便意がなくてもトイレに座ってみることを毎日繰り返すことで、少しずつ便意を感じるようになり、それが習慣化するはずです。それでも便意が治らないときは、一度病院で相談を受けてみてください。もしかすると大きな病気が潜んでいるかもしれません。

わたしの手料理

さつまいもと
鶏モモ肉の煮物ほか



食生活改善推進員 須藤 るい子さん(柿岡)
(ヘルスメイト)

[作り方]

さつまいもと鶏モモ肉の煮物 (4人分)

①鶏モモ肉500gは5cm角に切る。昆布30cmは2カップの水に漬けて戻し、幅1cmに切る。さつまいも320gは皮付きのまま乱切りにする。赤唐辛子1/2本は小口切りにする。②鍋に昆布の戻し汁2カップを入れ、さつまいもと昆布を加えて強火にかける。沸騰したら、鶏肉を入れてアクを取り、A[しょう油大さじ2・みりん大さじ2・砂糖小さじ1]の調味料と赤唐辛子を加えて中火で煮詰める。

ブロッコリーとしいたけの炒め物 (4人分)

①生しいたけ6枚は軸を取り、十文字に切る。ブロッコリー240gは小房に分け、熱湯でかためにゆでる。にんにく1片は薄切り、赤唐辛子1本は小口切りにする。②フライパンにオリーブオイル大さじ1とにんにくを入れて火にかけ、きつね色に焼いて取り出す。③②のフライパンを強火で熱し、ブロッコリー・しいたけを加え手早く炒める。④塩・こしょうで調味し、②のにんにくを戻して全体を混ぜ合わせ火を止める。

わが家のアイドル



瓦谷

岡崎 幸生ちゃん

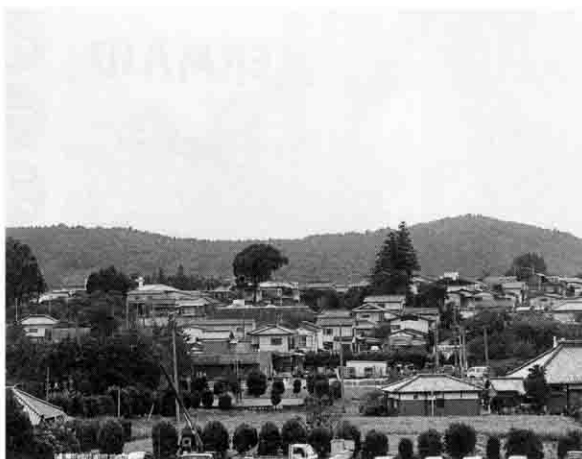
平成12年4月2日生まれ

父 利夫さん 母 百合子さん

♥家族からの一言

人見知りをしない子で、いつもニコニコしています。最近では歩行器に乗って一歩ずつ前に行くこともできます。紙やビニールなどに興味を示し、いじって遊んで楽しんでます。素直で優しい子に育ってくれたらと思います。

八郷の地名 (8)



鼓ヶ峰

富士山の旧名は
鼓ヶ峰

筑波山・加波山・足尾山などは、山脈・尾根・稜線などの山頂名である。一方、地籍図に載る小字名の山の名、峰の名などは必ずしも山頂名や尾根などの高い処とはかぎらない。

小字地名は大字が異なれば同じ山名や峰の名が付けられる。その数は百七十五余もあり、場所は山中・平地・宅地など様々な場所に点在する。裏山・前山・松山・杉山・竹山・向山・栗山・大山・屋敷山・長峰・大峰などの名前が多くどんな場所かは想像できる。

しかし、柿部山・玄播山・山津山・龍明松山・耳山・須賀山・毛無山・篠

山・浮巢山・内坊山・黄山・配坂山となると場所も意味も解らなくなる。

さらに、富士山・浅間山・権現山・稲荷山・諏訪山・愛宕山・八幡山・鹿島山・氏神山・宮山・寺山なども山頂ではなく神社に山の地名を付けた信仰対象地名であることが解る。

ところで、柿岡・須釜・小山田・鯨岡・小見・小堀・下林・嘉良寿理・浦須に見える「富士」の地名はどうして「富士」の地名なのだろうか、例えば柿岡・須釜・片野・加生野地域の境で、八郷町の盆地の中心にあり、地形図には「富士山」の名で載り「フジヤマ」と呼んでいるが地籍図での地名はどうなっているのか。

須釜地域の地籍図に山頂西端の小面積のみが載っているだけである。山頂から北側の大部分は地名も番地もない山林で

ある。(国有地・地磁気観測所)

この「富士山」の地名は『新編常陸国誌』に「鼓ヶ峰」と載り、片野の地籍図にも山頂東側を「鼓ヶ峰」と呼んでいる。したがって、富士山は江戸期に盛んになった富士講(富士信仰・浅間信仰)から御神体を自分の住む地に迎えて鎮座したことから名付けた地名である。

富士山頂には須釜の石沢集落の氏神社としての浅間神社が鎮座している。元は鼓ヶ峰の地名であったのが、富士講によって新しい地名が付けられ、ごく一部に旧地名の鼓ヶ峰が残っている。

町内にある富士の地名は、こうした富士講によって静岡県の浅間神社や富士山頂の浅間神社奥宮から迎えた浅間社の御神体の鎮座地に付けた地名である。

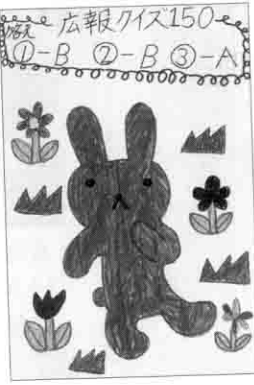
元茨城県立歴史館学芸部長 関 肇



部原 染谷和夫(63)



P.N 峰咲かずま



片野 市毛奈都美



P.N 奈月佐久羅



P.N 小橋照猫



わたしも一言

「犯罪のない八郷町に」

日、バス停近くに置いておいた
自転車を取り上げられ、毎日見返して
くれないかと思つて、毎日見返して
が、いまだに返却されません。以前は、
本屋で買った物中に、乗り逃げされ、数
キロはなれた畑の中に放置されていた
こともあります。近所の人に話すと「
うちもやられた。〇〇さんのところも
なくなつた」と、被害者の多いことに
驚きました。放火や、発砲事件など、
新聞で取り上げられる事件も多く見ら
れます。こんなのかな八郷町に犯罪
なんて似合いません。悪いことはしな
いでほしいものです。

匿名希望

習字コーナー

評 玄潮会理事

森 浩 亭

恋瀬小二年 高田美紀

恋瀬小四年 大槻友里恵

二年 高田美紀
なみ

一字一字に心がこもつていて良い
作品です。

四年 大槻友里恵
大地

元気良く堂々とした作品です。

有明中学校の生徒さんから寄せられ
た俳句を紹介します。

雪がふり 外に出てくる 子供たち
一年 磯 山 敦 子
祖母の手よ 氷となりて 夏の別れ
三年 吉 田 貴 利
夏の夜 ほたるの光 さがしてる
一年 廣 瀬 さつき
焼きいもの においつられ 外へ出
る 三年 市 村 英 典
自転車の ハンドル冷たい 登下校
三年 比 企 勇 介
夏の日が 夢のかたに とんで行く
一年 高 橋 亜沙美
秋空が あつというまに 暗くなる
三年 石 田 和 之

春の歌 ささやく花よ 飛んで行く
一年 郡 司 千亜希
おぼん洗い 冷たき水に 冬を感じる
三年 野 村 勇 介
焼きいものを 口にほおぼり みな笑顔
三年 奥 村 美 幸
もくせい の 香りただよう 風にのり
三年 永 瀬 美 貴
霜おりて さくさく歩く 子供たち
三年 大 岡 菊 恵
焼きたての 秋刀魚とわたし にらめ
っこ 一年 大 場 早 織
うぐいすが 解かしていくよ わが心
三年 磯 山 祐 樹
一日に 秋から冬へ かわつてく
三年 鈴 木 俊 洋

全問正解者のなかから
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 152

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①おしゃべりコンサートで公演を
した少年合唱団はどここの国から来
ましたか。

(A) ドイツ (B) イタリア

(C) アメリカ

②合唱団員のホームステイに協力
したホストファミリーは何組？

(A) 15組 (B) 18組 (C) 20組

③人権週間は何月何日から何日まで？

(A) 12月4日～6日(B) 12月5日～
10日(C) 12月4日～10日

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ152と書き、
答えの記号(例 1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10人に、図
書券をプレゼントします。

☆締切日 平成12年12月20日

(当日消印有効)

☆応募先 〒315-0195 八郷町
柿岡5680-1 八郷町役場秘書広
聴課

☆当選者の発表 本紙1月号

【広報クイズ150の当選者の発表】

正解は1-B、2-B、3-Aでした。

応募総数56通、正解54通の中か
ら次の10人が当選しました。

磯山美咲(宇治会) 岡崎洋子(吉
生) 奥村友紀(山崎) 小原とく(片
野) 菅谷健一(東成井) 田口希美
子(柿岡) 田口ふみ(片野) 富田
静(下青柳) 友常奈奈(柿岡) 菱
沼由佳(東成井) [敬称略]



P.N 上山えみ



月岡 萩原志づ



P.N くるた族

●やさと文芸

姑の介護に優しい嫁が今日も後押す車椅子

下林 鈴木利子

光る新米味覚の秋を、妻に分け合う今朝の膳

下林 村田美千代

金か銀かと気をもみ乍ら見てる茶の間もわいてくる

上 曾足立香根子

俳句

鈴木弦月選

筑波嶺にかかる笠雲鳥渡る
秋刀魚焼く匂ひ込めきし書斎にも
子も出でて日旺百姓暮早し

下林 鈴木邦翠
山崎 岡野佳風
柿岡 岩田ただし

俳句

綿引鼓峰選

虫の音に囲まれながら休日も夫と二人で畑仕事せり
ゆりの郷温泉付近は蕎麦の花柿とみかんも色つき初めぬ
コスモスの花夕映えにそよぐなかあかねとんぼがまた飛び交
う

短歌

吉田次郎選

山崎 荒井幸子

月岡 萩原照子

弓弦 塚田キヨ



昭和五十六年の瓦会保育所で行
われた避難訓練。子どもたちは発
煙筒をたいた中、保育さんの後を
ついて避難。ちゃんと逃げられた
かな。



「まち」の話題で「き」と

身近な出来事や地元の話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課内線三四三)



オリジナル品種はミレニアム ピンク

茨城県フラワーパークでは、オリジナルの貴重な品種の名前を公募した結果、宇都宮にお住まいの主婦、関根秀子さん(写真右)が、品種名を「ミレニアムピンク」と名付け、見事当選されました。十月八日に名付け親証明書が交付され、記念品が贈られました。

同園では、ことしの六月十一日から二十五日まで、来園者や一般の皆さんから品種名の公募を行い、投票総数四百八十

三人、品種名三百三十品種の投票の中から「ミレニアムピンク」が選ばれました。公募した品種は、平成六年兵庫県伊丹市在住のバラ品種育苗家、寺西菊雄氏より寄贈されたオリジナル品種四株です。

オリジナル品種は、淡いピンク色で花径は約十センチ、花弁は二十五枚前後、樹形は直立性でトゲは多くありません。寄贈されてからは同園で丹念に育てられていました。

ふれあい食事会で楽しいひととき

ふれあい食事会が十一月七日、農村高齢者センターを会場に行われ、八郷町に住む一人暮らしのお年寄り八十人が参加しました。

この食事会は毎年好評で、ことしで三回目を迎えました。参加されるお年寄りの回を重ねることに増えているそうです。お弁当は、たんぼの会、つくしんぼの会、町食生活改善推進員などの協力を得て作られ、栄養のバランスを考えたメニューになっています。津軽三味線の演奏を聴きながらの会食の後は、踊りや童

謡と合唱の披露、最後にカラオケと健康体操で会場はいつそう賑わいました。参加したお年寄りの皆さんは楽しいひとときを過ごされたようです。

また、八郷町社会福祉協議会では月に二回、一人暮らしのお年寄りの皆さんに給食サービスを行っています。ボランティアのたんぼの会、つくしんぼの会の皆さんに、お弁当作りと配達の協力をしてもらい、お年寄りには大変喜ばれています。



平成十二年度 菊地四郎顕彰

菊地四郎顕彰表彰式が十一月三日に行われ、三人の方々が受賞されました。これは、明るく住みよい社会の建設に功績が顕著だった方におくられるものです。

茂垣好夫さん(柿岡・79)
塚本昂次郎さん(小幡・66)
磯山典孝さん(浦須・27)

第五十一回 茨城県消防ポンプ操法競技大会 新治地区大会結果

十月二十八日

〔自動車ポンプの部〕

- ①土浦市(第二十七分) ②石岡市(第七分団) ③八郷町(第七分団 第四部)

〔小型ポンプの部〕

- ①八郷町(第八分団第二部) ②新治村(第三分団第二部) ③霞ヶ浦町(第五分団)

訂正とお詫び

広報十月号九ページ町民武道大会剣道個人中学女子の部の第三位は荒木麻美さんと中村真由美さん、小学六年の部優勝の斉藤大貴さんは斉藤太輝さんの誤りです。訂正してお詫びいたします。



あさぎり作品展開かれる

八郷町絵画同好会あさぎり第二回作品展が、十月五日から八日まで役場一階会議室で開催されました。会場にはおよそ六十点の作品が展示。一人ひとりの個性あふれる作品が並びました。

絵画同好会あさぎり(代表藤倉澤さん)は、結成してから今年で三年目を迎えます。加藤肇司先生を講師に、月に二回、十二人の会員で活動しています。初めの一年は公民館講座から始まり、デッサンを中心に行いました。加藤先生が「絵は

上手じゃなくてもいいのです、自分の個性を出しましょう」という考えなので、会員の皆さんは自由な発想でのびのびと絵が描けるそうです。

代表の藤倉さんは「この作品展をとおして一人でも多くの人が油絵に関心を持ち、興味を示してくれたら」と話し、「次の作品展には八郷町をテーマに風景や町、民家、人物、花などを描きたいですね」と今後の意欲を語りました。

町の消防力強化に向けて

十一月六日、八郷消防署において消防団指揮広報車および小型動力消防ポンプ伝達式が行われました。

消防団指揮広報車は町消防団本部、小

型動力消防ポンプ二台は第八分団第二部と第八分団第四部にそれぞれ配置されました。町のさらなる消防力の強化が期待されます。



作品に触れ芸術が身近なものに

八郷の作家三人展が十一月三日から七日まで、役場一階会議室を会場に開催されました。ことしで四回目を迎える三人展は、八郷町に居住され、意欲的な創作活動を日々行っている彫刻の松尾大介先生、陶芸の保坂悦子先生、日本画の大和田静子先生の作品がそれぞれ会場を飾りました。

会場には町内をはじめ町外からも多くの来観者が訪れ、先生方のすばらしい作品を見ては立ち止まり、しばし見入っていました。

来観者は、八郷町の自然の中で創作された先生方の作品に触れることで、芸術を身近に感じ、芸術に対する意識をさらに深めたことでしょう。



立冬も過ぎ、暦は冬に入りました。朝晩が寒くなったせいか、風邪がはやっているようです。ちなみに私も風邪をひいてしまい、十一月の三連休は寝たきり状態でした。食べたくても食べられない状態はどつらいものではありません。自分は大丈夫と思っている皆さん、油断は禁物ですよ。

さて、再び私事ですが、先日フジテレビの番組「おはよういばらき」に出させてもらいました。筑波山麓の観光スポットの案内役として「観光のことならお任せください」と、十三塚の柿狩りを楽しんだレポーターの方を石岡市のタチヨウの王国、風土記の丘、八郷町のギター文化館、やさしく温泉ゆりの郷へと連れて行くという内容。撮影はなんと二日もかかりました。十五分番組に二日もかかるわけですから生番組以外の長時間番組などは？と単純に考えてしまいます。この二日間、ちょっとしたタレント気分が味わえ、テレビの裏側を見ることができ、テレビを見る目が少し変わりました。

何よりも結果の前の努力する時間が大切なんだと思います。(且)

人権週間12月4日～10日

——子どもの人権について考えよう——

まずは身の周りに目を向けて

学校における「いじめ現象」は全国各地で多発し、その問題は深刻さを増しています。いじめは、正当な理由もなく抵抗のない者に対し、仲間はずれにしたり傷つける言葉をあびせたり、精神的、身体的にも苦痛を与えます。いじめは子どもの人権にかかわる問題です。このような中で、わたしたち大人は家庭や地域で子どもたちと向き合っていく必要があります。まずは身近な人権問題に目を向けてみましょう。



いじめは、いじめっ子(加害者)、いじめられっ子(被害者)という関係で起るわけではありません。その周りには「はやし立て、面白がつて見ている子どもたち」「観衆と、見て見ぬふりをしている子どもたち」(傍観者がいて、学級集団全体で起るものです。しかし、最近みられる「いじめ」現象は、あそびやふざけを意図して行われたり、けんかの形態をとっていじめが行われたりするなど、いじめの口口が巧妙になっています。いじめられる側がいじめられているという心の痛みを言葉や態度で表さなければ、周りには分からず、いじめている側も相手を傷つけていることに気づかないケースもあるのです。

子どもの人権がいじめで侵されないために、わたしたち大人のもっている役割が必ずあるはず。子どもをもつ親にとって、自分の子どもが学校でどのように過ごしているか、いじめていないか、いじめられていないかを知るには、まずは家庭で子どもと触れ合い、話し合う場をつくるのが大切です。子どもとのコミュニケーションをとることによって、子どもの心のシグナルに早い段階から気づき、救いを求める子どもたちを受け止めることができるのです。子どもは自分を認めてもらいたいのです。認めてもらいたいのです。分かってもらいたい人に側にももらいたいのです。では、わたしたち大人の人権に対する意識はどう

でしょうか。人間は誰だって欠点もあり、弱点もあります。それぞれの個性があり、考えももちろん違います。自分と少しでも異なる立場や考えをもつ人々を認める寛容さをあなたはもっていますか。いじめは、人を軽蔑したり、差別したりする心の貧しさから生まれるものです。

人権を守るためには、常に相手の心を考えることが大切です。自分自身をもつ一度見つめ直し、自分の中にある差別の芽をつみ取っていくことが差別、いじめ問題の解決につながるのではないのでしょうか。

子どもたちに人はそれぞれ違って当たり前、同じ人間はいないことを理解させましょう。誰だって欠点もあり、弱点もあります。人をいたわることなどは、その弱点をかばってあげることなのです。大人は自分の考えを子どもに押しつけて敬遠されてしまいがちですが、余裕を持ち、子どもの話にも最後まで耳を傾けながら話してみてください。そして、自分の子がいじめている現場を見たら傍観者になってはいけないことを、そして、いじめをやめさせる勇気を持つように子どもに教えましょう。また、いじめている本人だったら、自分のしていることが、相手をどれだけ傷つけていることなのかをしっかりと教えてください。いじめられている本人だったら、子どもには相談しやすい家庭環境が必要です。

子どもは未来の担い手として期待される社会の宝です。このようなかけがえのない子どもたちを学校、家庭、そして地域社会全体で守ってあげられるように、わたしたち大人は、人権に対しての意識をさらに深めていくことが大切です。